

国の予算案の閣議決定を受けて 大規模改造工事5校に係る補助金を要望



平成31年1月9日

現在の公立学校施設整備の問題点

予算が安定的に措置されない結果、
自治体で計画的に施設整備が行えない！

各自治体の要望

平成30年度 2,000億円程度

予算措置の状況

平成30年度当初予算
682億円

平成29年度補正予算
662億円

660億円程度不足

- ・平成29年度当初予算で措置されなかった事業は、平成29年度補正予算で対応したものもあるが、工期の変更を行うなど影響が大きかった。
- ・工事が先送りできない自治体は、補助を受けずに単費で事業を行った。
- ・平成30年度に予定していた事業については、平成29年度補正予算で前倒して対応したものもあるが、要望額から比較して660億円程度不足しており、老朽化対策を含め、多くの事業がストップすることとなる。

平成30年度は660億円程度の不足が生じているため、今後の補正予算による事業実施は必須。
さらに、当初予算の安定的な確保により、安定的・計画的に整備を可能にする必要がある。

国の予算に対するこれまでの要望活動①

平成30年6月5日
学校耐震化・施設整備等促進
議員連盟に属する国会議員及
び文部科学省

全国公立学校施設整備期成会会長
に就任したことを受け、学校耐震化・
施設整備等促進議員連盟に属する
国会議員及び文部科学省を訪問



平成30年6月6日
第88回全国市長会議

「公立小中学校施設整備のための予
算確保に関する決議」を採択し、全国
市長会副会長として、内閣官房正副
長官、自由民主党及び公明党を訪問
し、決議について要請



平成30年6月21日
自民党学校耐震化・施設整備
等促進議員連盟及び公明党文
部科学部会

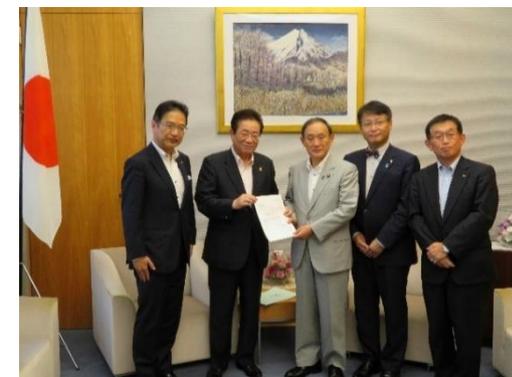
全国公立学校施設整備期成会と自
民党学校耐震化・施設整備等促進
議員連盟及び公明党文部科学部会
と公立学校施設整備の現状につい
ての勉強会・意見交換会を実施



国の予算に対するこれまでの要望活動②

平成30年8月30日
全国市長会 緊急要望
(首相官邸ほか)

学校施設整備の当初予算の確保及び平成30年度不足分への補正予算措置と併せ、ブロック塀の安全対策や空調設備設置を行うための十分な財政措置を要望



平成30年10月5日
全国公立学校施設整備期成会
緊急要望(自由民主党)

期成会会長として、自由民主党の二階俊博幹事長を訪問し、公立小中学校施設の老朽化対策をはじめ、エアコン整備やブロック塀の安全対策のための予算確保を要望



平成30年10月10日
全国公立学校施設整備期成会
緊急要望(首相官邸)

期成会会長として、菅義偉内閣官房長官を訪問し、公立小中学校施設の老朽化対策をはじめ、エアコン整備やブロック塀の安全対策のための予算確保を要望



国の予算の状況①

平成30年11月7日

平成30年度補正予算(第1号) 成立

早期に子供たちの安全と健康を守るため、ブロック塀の安全対策や熱中症対策としての空調設備の整備を推進するために新たに国庫補助制度を創設

「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」 985億円

当市の国庫補助金の内定状況

事業種別	要望額	内定額
ブロック塀等安全対策事業	33,882千円	33,083千円
空調設置事業	432,073千円	396,335千円
計	465,955千円	429,418千円

国の予算に対するこれまでの要望活動③

エアコン設置やブロック塀対応以外にも、トイレ改修等の老朽化対策や給食施設の整備など、国土強靱化に資する学校施設の整備を進める必要があるものについて重ねて要望

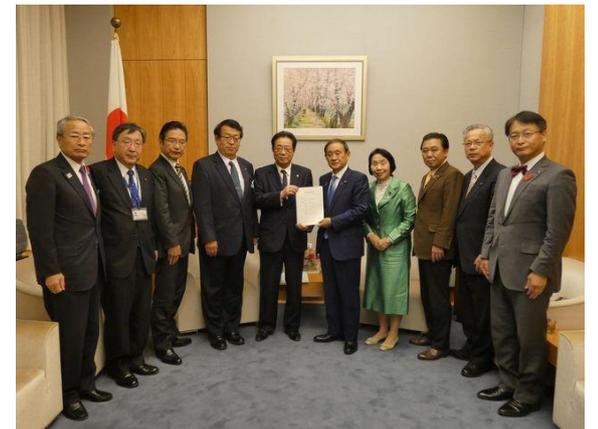
平成30年11月14日
全国公立学校施設整備期成会
要請活動
(内閣府及び議員会館)

期成会会長として、山本順三内閣府特命担当大臣(防災)・国土強靱化担当大臣及び議員会館を訪問し、学校施設の老朽化対策等への財政措置について支援を要請



平成30年11月15日
全国市長会 実行活動
(首相官邸及び公明党)

全国市長会社会文教委員会担当副会長として、首相官邸の菅義偉内閣官房長官や公明党を訪問し、公立小中学校施設の新増築・老朽化対策等への財政措置について要請



国の予算の状況②

(要求額) 平成31年度概算要求 2,432億円

(予算計上)

①30年度1次補正 985億円(空調・ブロック塀関係予算)

②30年度2次補正(案) 372億円(防災・減災、国土強靱化関係予算)

③31年度当初(案) 1,608億円

(うち 防災・減災、国土強靱化関係予算 941億円)

予算計

2,965億円(対要求533億円増)

・平成31年度当初予算計上額1,608億円は当初予算としては平成13年以来、18年振りの水準額

・補正予算を含む予算額2,965億円は、平成30年度の各自治体の要望総額約2,000億円を大きく超える画期的なもの

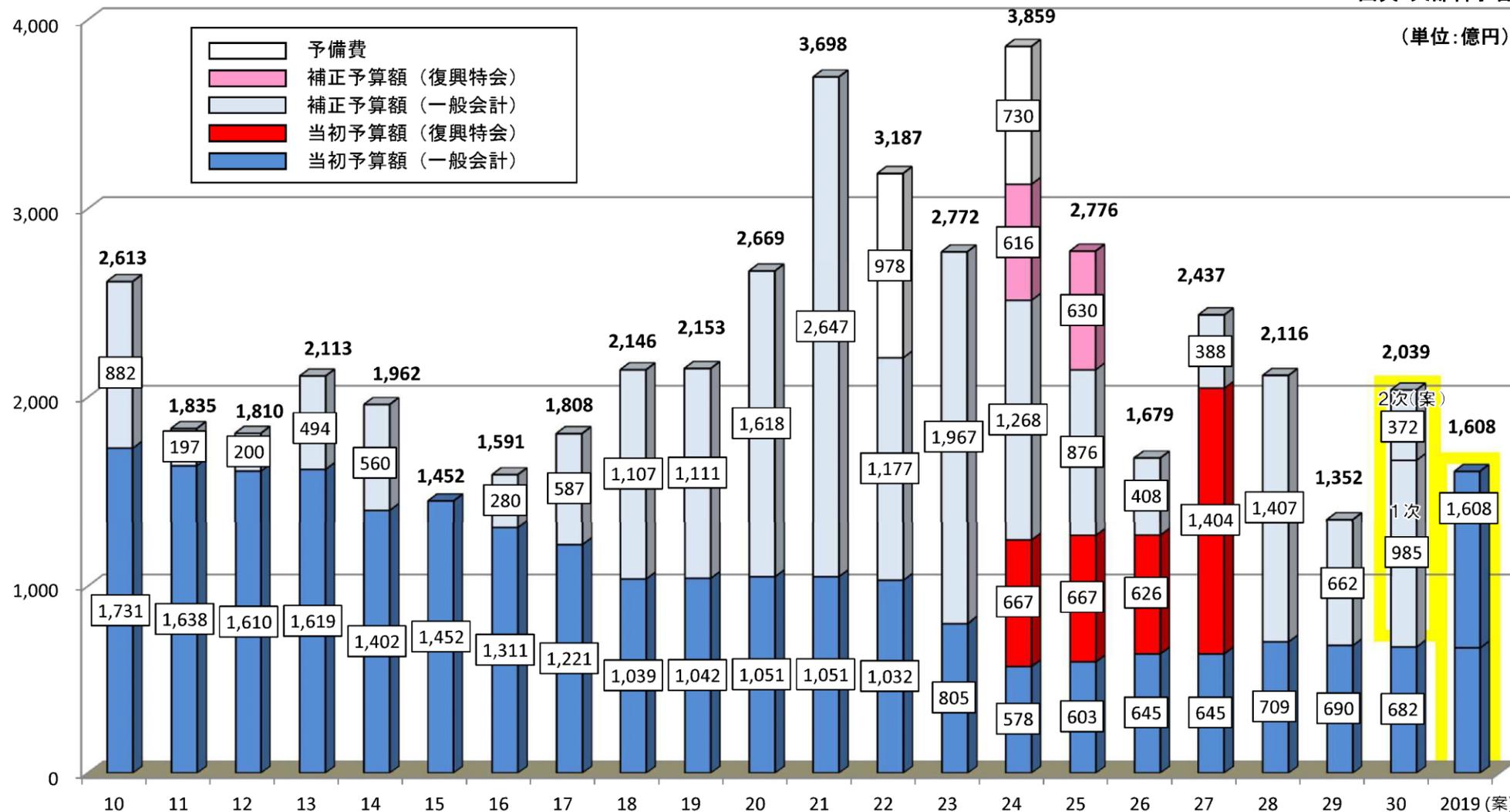
国の予算の状況③

公立学校施設整備費予算額の推移（平成10年度～2019年度当初予算（案））

※沖縄分については内閣府において計上

出典：文部科学省

（単位：億円）

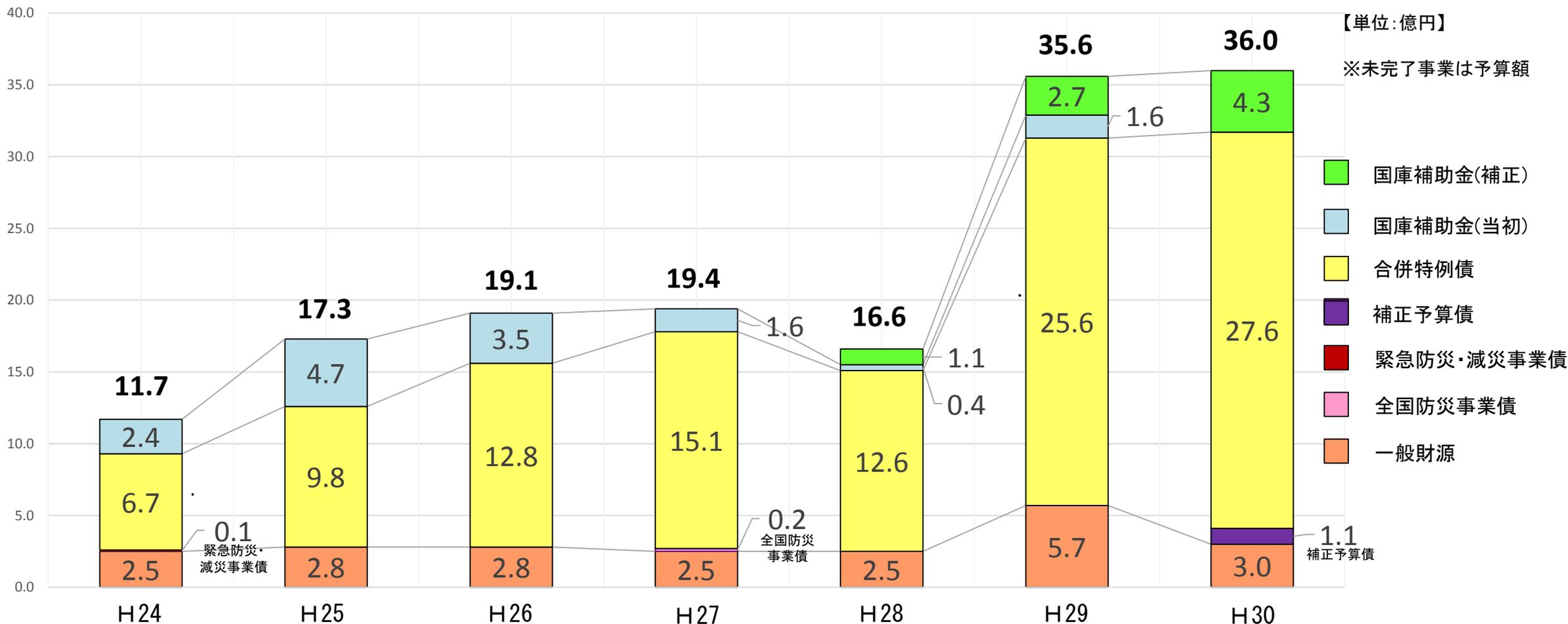


（注）平成13年度、20年度、21年度、23年度の補正予算額は1次補正、2次補正、3次補正の合算（21年度については執行停止額を含む）。
平成24年度予備費は経済危機対応・地域活性化予備費（149億円）と東日本大震災復興特別会計予備費（581億円）の合算。
端数四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

【一般会計＋復興特会】（単位：億円）

	24	25	26	27
予備費	730			
補正予算	1,884	1,506	408	388
当初予算	1,246	1,271	1,271	2,049

津市における施設整備費の推移



平成31年度に大規模改造工事を予定している5校(新町小、藤水小、西が丘小、南郊中、久居中)について、必要な財源として約4.1億円を1月9日付けで文部科学省に前倒し可として要望

津市の雨水対策

雨水管理総合計画に基づく事業を 平成31年度から本格的に開始します



平成31年1月9日

津市における雨水対策の歴史

津市は昭和34年の伊勢湾台風以降、昭和49年の豪雨、近年では平成16年の台風21号と度重なる浸水被害が発生しており、特に**昭和49年に発生した豪雨は市沿岸部の約3,500ヘクタールが最大48時間浸水し、大きな被害を受けました。**

公共下水道(都市下水路)事業

昭和35年度から事業着手

事業費	約545億円
排水区	27排水区
水路整備延長	34,318m

河川事業

昭和54年度から事業着手

事業費	約64億円
河川	6河川
河川整備延長	6,860m

昭和49年洪水時の浸水状況



志登茂川・横川合流点



江戸橋歩道橋付近



白塚町地内

放流先の河川と下水道計画の現状

浸水区域の雨水排水放流先(海岸沿線の一部を除く)

二級河川志登茂川、安濃川、岩田川、相川及び一級河川雲出川等の河川へ放流

放流先河川の
現状

河川改修が進められているが、一部の下流区間の整備にとどまっている
完成までに相当の期間が必要

浸水対策が進まない要因

下水道計画の
現状

未改修河川の沿岸に多くの浸水区域が確認される
現状の下水道計画は、排水先の河川が改修されていることを
前提としている

このままでは、内水域の浸水対策が進まない

河川改修に頼らない雨水排水対策が必要

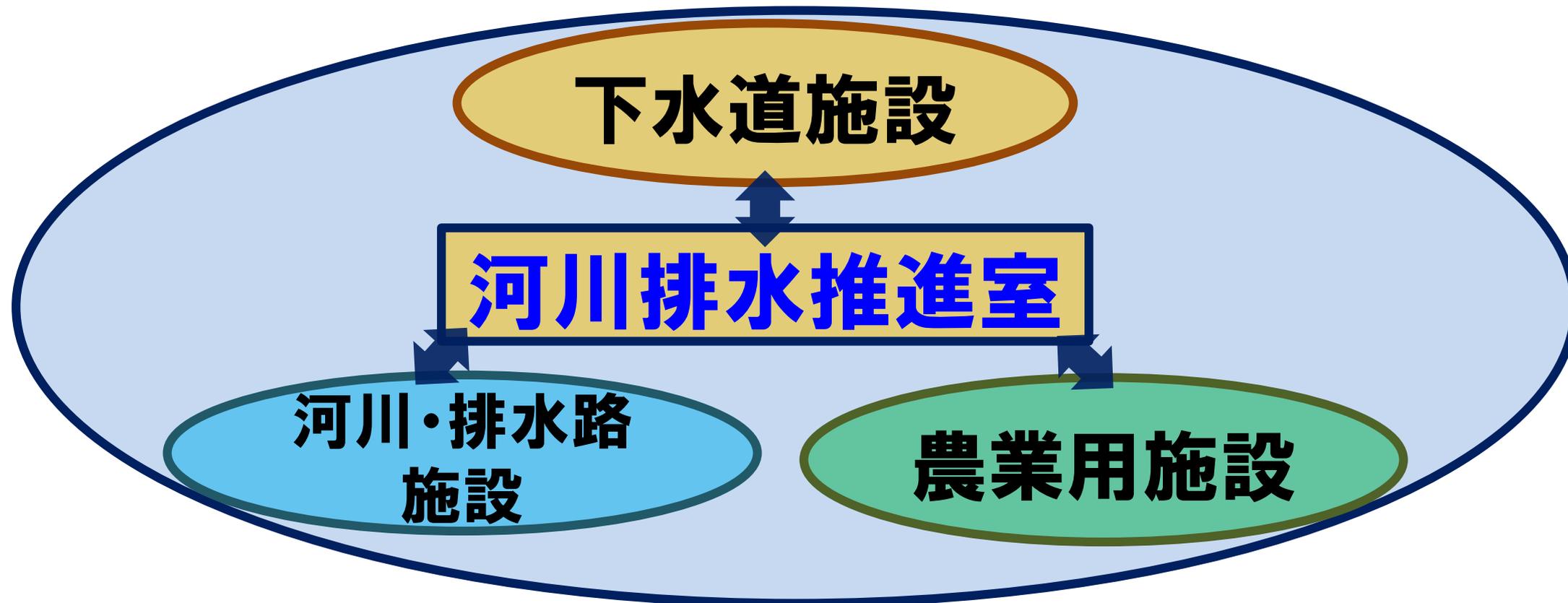
雨水対策推進のための組織づくり

浸水対策を進めるためには、下水道施設、河川・排水路施設、農業用施設の問題を総合的に考え、浸水対策計画を策定することが必要

平成28年度 建設部に河川排水推進室を設置

総合的な浸水対策計画

各浸水要因の分析と対応策を検討し、浸水対策案に反映する。



雨水管理総合計画の策定と事業化

平成29年度 津市雨水管理総合計画策定

策定費用 2,484万円

経済的かつ迅速に浸水被害を最小化する取り組みを推進することを目的に策定

津市雨水管理総合計画の内容

浸水対策を実施すべき区域の設定（14地区を重点対策地区に指定）
財源や事業量を考慮した計画目標の設定

下水道計画に反映

平成30年度 下水道事業計画の変更

6月補正予算 1,600万円

平成31年度から雨水対策実施中の8地区から14地区に拡大して事業を推進

計画期間

2019年度(平成31年度)～2028年度

事業費

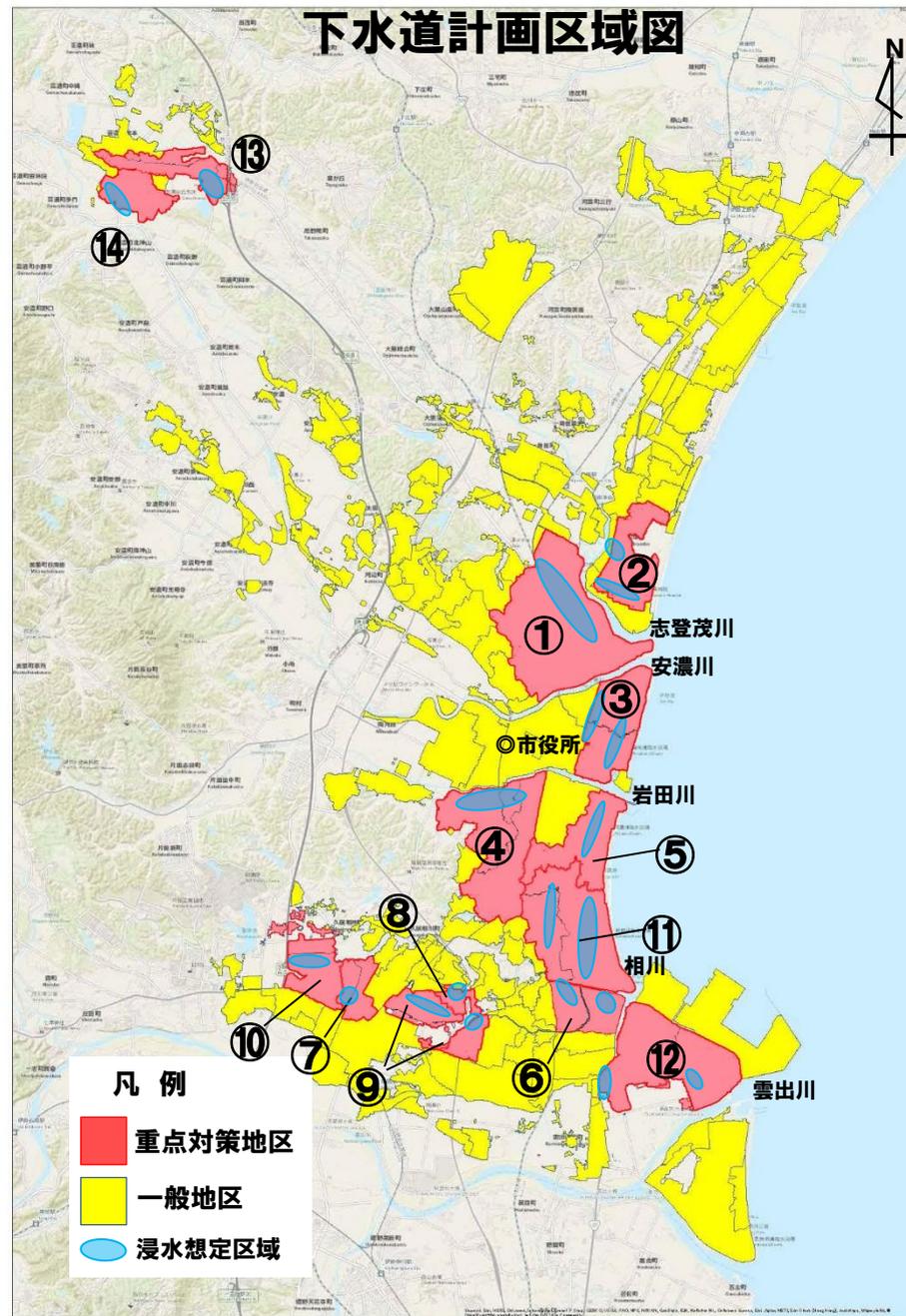
2019年度(平成31年度)から10年間で 約100億円

国の社会資本整備総合交付金を活用

平成31年度雨水対策事業費(予定)約8億円

津市

公共下水道雨水事業の展開



※一般地区とは、下水道計画区域の重点対策地区以外の区域

新規事業 1億5,000万円程度
 継続事業 6億5,000万円程度

重点対策地区での実施内容(状況)

重点対策地区	排水区		内容(状況)
①上浜	上浜		上浜第2-1雨水幹線実施設計
②栗真町屋	栗真町屋		町屋第2雨水幹線実施設計
③橋内	橋内東部第二		乙部ポンプ場遊水池整備実施設計
④半田	半田川田		半田川田第1雨水幹線築造工事
⑤阿漕	阿漕		事業実施調整中
⑥高茶屋	天神		天神ポンプ場(上部建築)工事
⑦久居駅西部	北部第一		北部第一調整池整備
⑧立成小学校周辺	野村第二		雨水管渠築造完了に伴う移設物件等復旧工事
⑨野田池周辺	宮池	新規	国道165号横断水路の設計協議
	野村第一		野田池の洪水調整池への改良設計
⑩久居IC周辺	射場、明神風早	新規	県道横断部等の局部改良調査
⑪藤方	藤方第二	新規	貯留管実施設計
⑫雲出	長浜、伊倉津	新規	既存幹線縦断変更局部改良工事
⑬芸濃IC周辺	志登茂川上流第二	新規	バイパス水路実施設計
⑭棕本地区	安濃川上流左岸第二	新規	バイパス水路実施設計

雨水対策の取り組み(雨水幹線の延伸)

④半田地区

半田川田排水区

工事概要

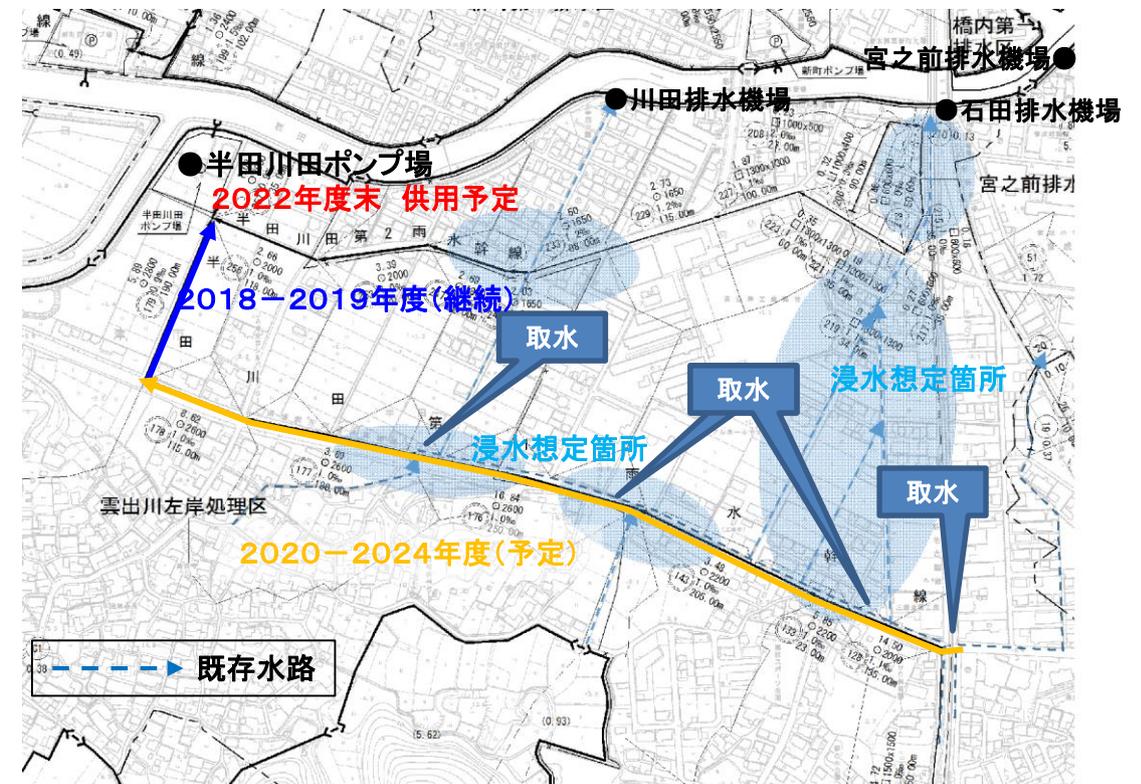
雨水ポンプ場・管渠建設

2019年度
(平成31年度)
予定事業概要

半田川田第1雨水幹線
(φ2800mm L=200m)

対策概要

雨水管渠を近鉄横断
まで施工し、岩田川右
岸(修成地区等)に集
中していた雨水排水を
上流でカットし、浸水
被害軽減を図る。



雨水対策の取り組み(雨水ポンプ場の新設)

⑥高茶屋地区

天神排水区

工事概要

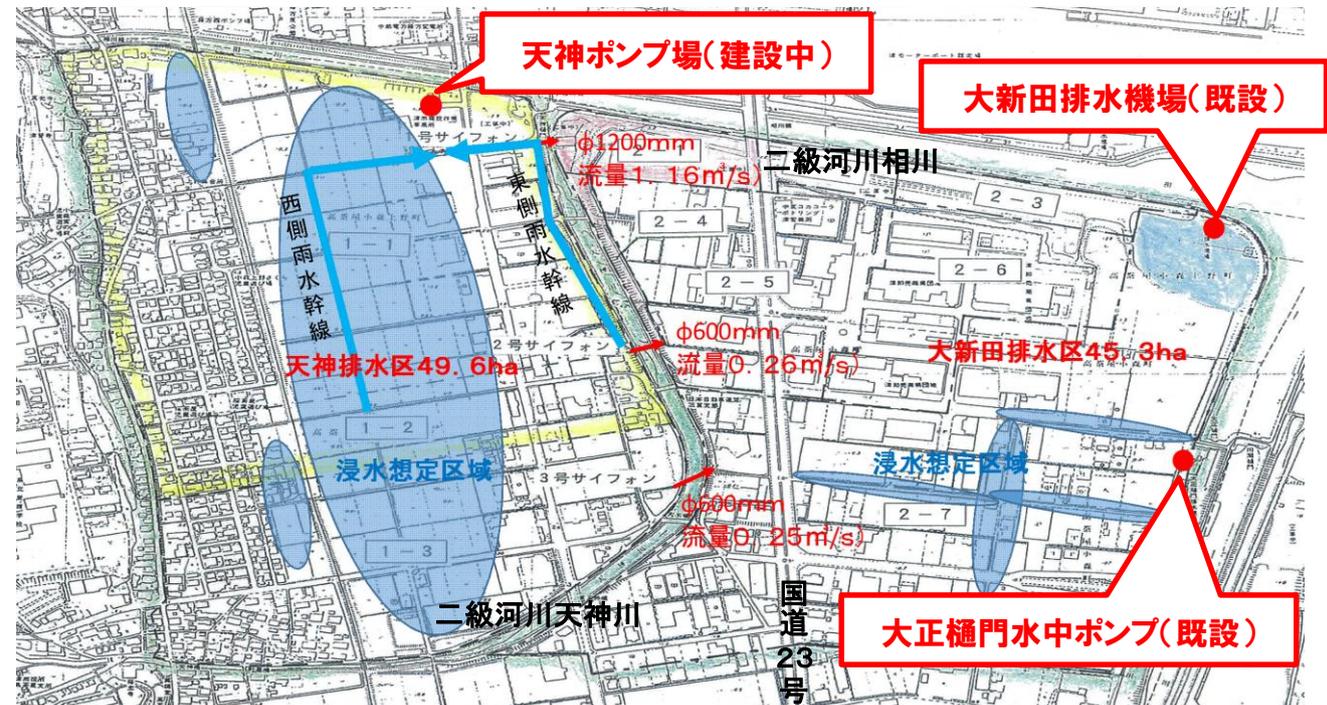
雨水ポンプ場・管渠建設

2019年度
(平成31年度)
予定事業概要

天神ポンプ場
(上部建築)工事

対策概要

ポンプ場建設及びポンプ場東側の雨水幹線整備を推進し、大新田排水機場の負担軽減を図り、浸水被害軽減を図る。(大新田排水区へ流さない)



雨水対策の取り組み(洪水調整池の整備)

⑨野田池周辺地区

野村第一・宮池排水区

工事概要

雨水幹線建設
洪水調整池建設

2019年度 (平成31年度) 予定事業概要

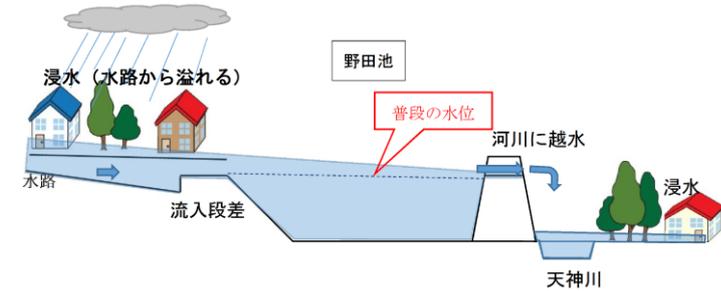
野村第一排水区
野田池を洪水調整池への改良設計
宮池排水区
国道165号横断水路の設計協議

対策概要

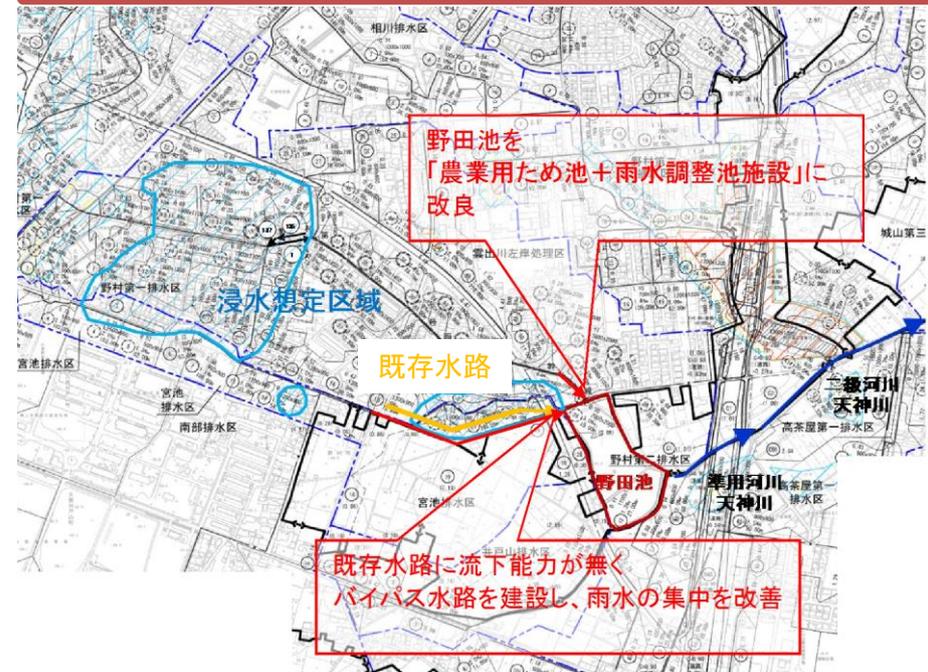
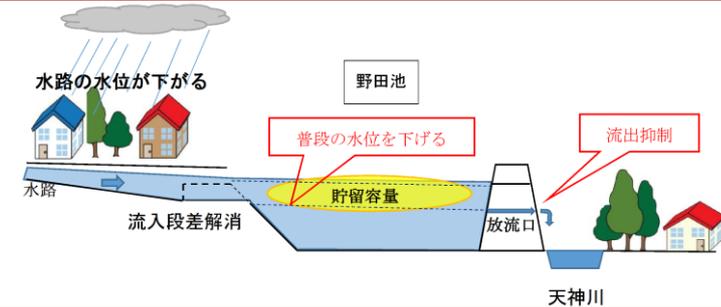
野村第一排水区
野田池をため池併用調整池へ改良し、久居団地の浸水被害の解消、野田池下流部の天神川で発生する洪水を抑制する。

宮池排水区
既設水路の能力不足をバイパス水路を施工し浸水解消を図る。

現状



改良後



その他の取り組み(河川・排水路施設の改良)

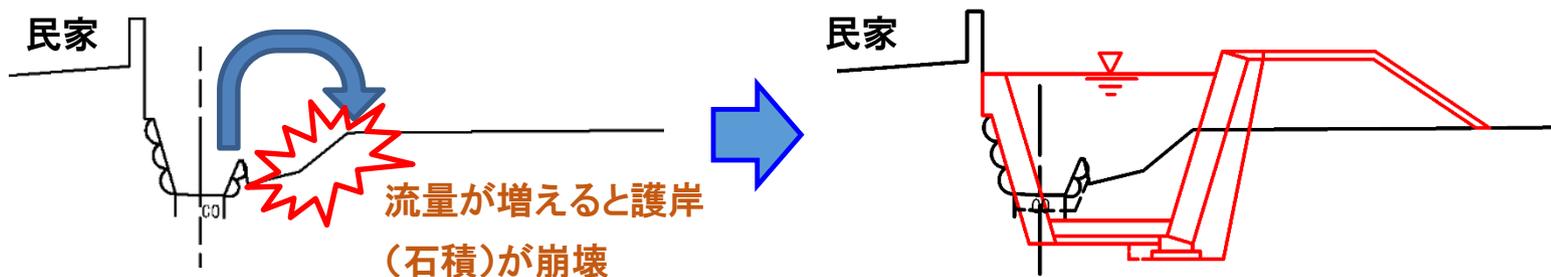
問題点を分析し、局所改良などの対策案に基づく対策工事を実施

平成30年度まで	測量調査設計	森町地内ほか 9カ所(広域検討含む)	920万円
	工事	森町地内 1カ所	600万円
平成31年度予定	測量調査設計	2カ所分	100万円程度
	工事・用地	森町地内ほか 3カ所	3,000万円程度

【局所的な改良の一例】(平成30年度測量調査 準用河川朝日新川の場合) ※平成31年度の額は、当初予算案 計上予定額



護岸を改修し、上下流に整合させた通水流量を確保することで対策



写真①
上流から
下流方向



写真②
下流から
上流方向



改修箇所
(L=31m)

10年確率の断面に改修

測量調査設計

森町地内ほか 9カ所(広域検討含む)

920万円

工事

森町地内 1カ所

600万円

測量調査設計

2カ所分

100万円程度

工事・用地

森町地内ほか 3カ所

3,000万円程度

平成30年度まで

平成31年度予定

その他の取り組み(農業用施設の活用)

活用されていない農業用ため池を洪水調整池へ転用

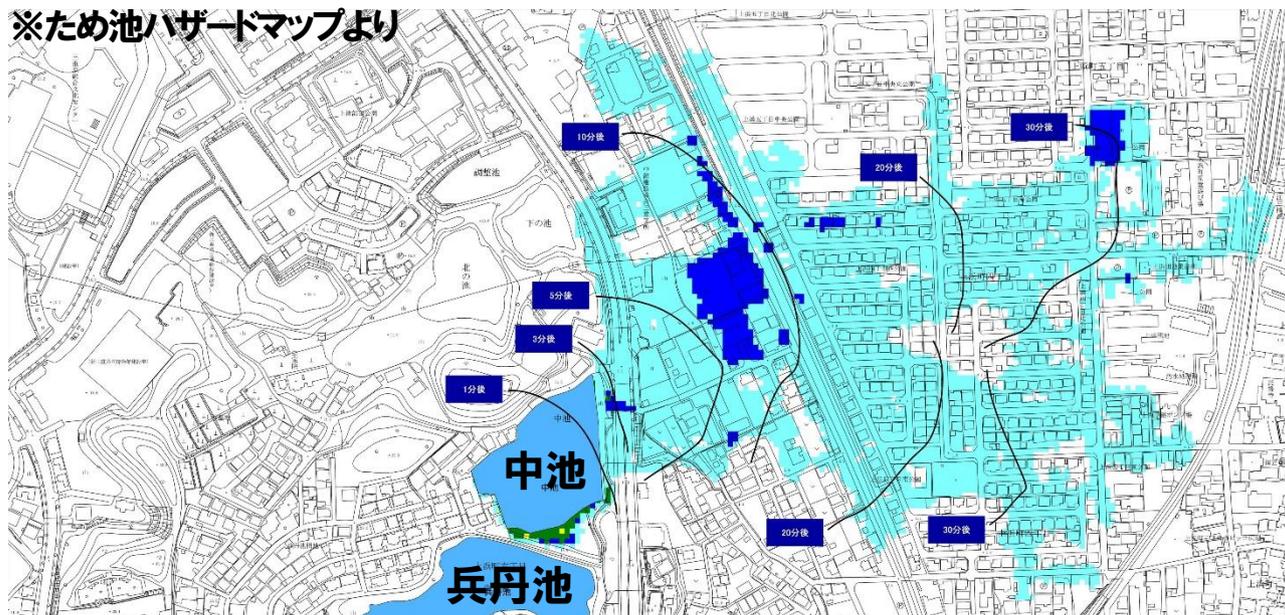
平成30年度まで	測量調査設計	中池・兵丹池ほか4池	765万円
平成31年度予定	測量調査設計	香水池・千歳池	400万円程度

【調整池化の一例】(平成30年度調査検討 中池・兵丹池の場合)

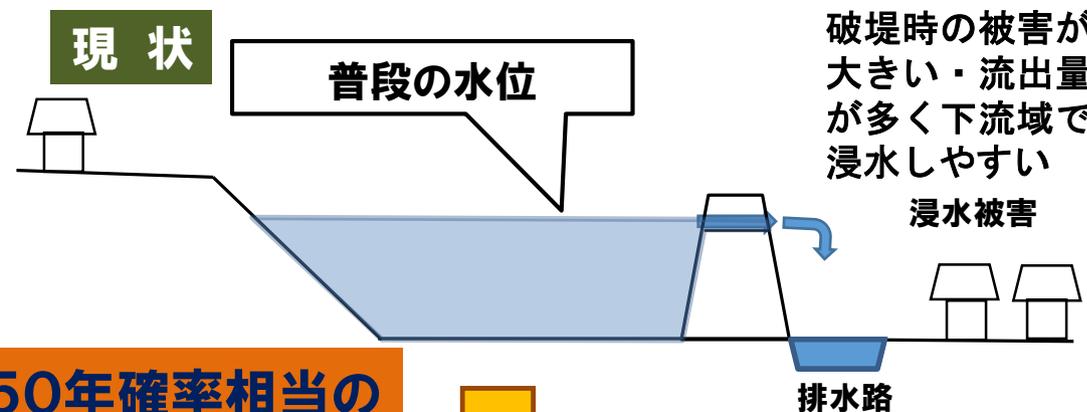
※平成31年度の額は、当初予算案 計上予定額

ため池堤防破堤時の浸水想定

※ため池ハザードマップより



水深	浸水深	被害想定
赤	5.0m以上	… 2階の屋根を超える
黄	2.0m~5.0m未満	… 2階の軒下までつかる
緑	1.0m~2.0m未満	… 1階の軒下までつかる
青	0.5m~1.0m未満	… 大人の腰までつかる
水色	0.5m未満	… 大人の膝までつかる



50年確率相当の降雨に対応

